

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

o-Phenylenediamine のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

O113 EFA

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: o-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式: 半止水式(48 時間後に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物: ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間: 96 時間
- 5) 試験濃度(設定値): 対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6 および 10mg/L (公比:1.8)
- 6) 試験液量: 5L/容器
- 7) 連数: 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数: 10 尾/試験区
- 9) 試験水温: 24±1℃
- 10) 照明: 室内光, 16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法: HPLC 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度: 分析結果が設定値の±20%を超えたため、以下の値は実測値で示した。
- 2) 96 時間の半数致死濃度(LC50): 4.6mg/L(95%信頼区間: 2.7~8.3mg/L)